

# 庄原自治振興区だより

第126号 平成29年4月20日発行

〒727-0013  
庄原市西本町二丁目17番15号  
TEL/FAX  
(0824)72-3777

## 新年度を迎えて

春風が心地よい季節となりました。

昨年度は、広島東洋カープの25年ぶりのリーグ優勝と、庄原市出身の金藤理絵さんのリオオリンピック金メダル獲得など、夢と勇気をもたらした輝かしい年でした。

本区においては、「地域振興計画」に基づき「より安全でより安心して暮らせる協働の街づくり」を目指して、重点事業を中心に活動を進めてまいりました。

本地域を含め一段と過疎化・少子高齢化が進む中山間地域である庄原市において、地域をより一層活性化し、安全・安心な地域づくりに向けて、自治会活動の果たす役割は益々重要となってまいります。

本区が重点事業として取り組んでいます「高齢者等のさりげない見守り活動」・「自主防災活動」は自治会活動の柱となるもので、区民ひとり1人が強い絆のもとで進めて行きたいと思えます。

また、昨年度から進めています地域の貴重な歴史文化を次世代に継承する活動も、本年度から本格的な取り組みを行うこととしています。そして、地域の活性化に向けて、区民相互の交流と絆を深めるための諸行事を積極的に実施いたします。

本区が取り組みます事業に対しまして、皆様の積極的なご参加をいただきますようお願いいたします。

庄原市庄原自治振興区 区長 谷川 巖



## 大人の料理教室『燻製教室』

— 庄原自治振興区主催 新事業 —

2月19日(日)午前10時から午後3時まで15名の参加で、初めての行事として大歳下自治会の西山昭憲さんを講師に「燻製教室」を行いました。

午前中は、燻製の作り方の手順についての講義・材料の下ごしらえを行い、講師手作りの燻製器を使用した実践を行いました。

午後は、いよいよ燻製の出来上がりです。食材は「鶏肉・猪肉・チーズ・卵・ウインナー・たくあん」でした。

どの食材も桜チップなどのスモークの香りが程よく効いた燻製が出来上がり、十分に燻製の魅力を満喫した1日でした。



## 平成29年度広島県交通安全スローガン 「まだ行ける 渡れそうでも 待つゆとり」



### 第12回 役員会報告 (3月28日) 協議事項等は次の通りです。

- (1) 平成29年度通常総会関係について
  - ① 世帯数調査提出期限、4月10日(月)
  - ② 代議員報告書提出期限、4月25日(火)
- (2) 高齢者等の安心サポートについて
  - ・さりげない見守り活動・・・3月13～17日、緊急連絡マニュアルを協力事業所に訪問配布
- (3) 就業規則の一部改定について
  - ・事務局員給与改定・・・昇給に係わる内容整備、1時間当たり賃金の改正
- (4) 自治会活動発表・・・大久保東：土居自治会長、 次回予定：大久保西自治会

## 平成 28 年度 第 3 回福祉団体連携会議開催

3月21日(火)、庄原地区民生委員児童委員協議会・庄原地区ひとり暮らし高齢者等巡回相談員連絡協議会庄原支部・庄原市社会福祉協議会・庄原地区社会福祉協議会・庄原地域包括支援センター(高齢者福祉課)・庄原自治振興区の6団体、14名で福祉団体連携会議を開催し、次の事が報告・協議されました。(1) 高齢者等見守り活動協力事業所対応マニュアルを15事業所へ持参し、協力を要請した。庄原郵便局からは、「郵便局」と「関係機関」との「協定」を結ぶことにより、取り組みの詳細を明記していくことの検討要請があり、来年度検討することとした。(2) いのちのバトンの取り組みについて⇒冷蔵庫での保管の意を表す「シール」は、「安全安心カード」の更新と併せて3月28日(火)に各自治会長に配布。(3) 庄原市社会福祉協議会の奥田主幹から「ここで暮らしたい!～安心して暮らすための取り組み～」について説明をいただき意見交換をしました。この話は出前講座として対応できますので、庄原市社会福祉協議会へ申し込み下さい。今後も福祉関係団体が連携を図りながら取り組んで参りたいと思います。



## 桜の開花に備え、上野池クリーン作戦

庄原自治振興区は、3月15日(水)、「上野池活性化プロジェクト事業」の一環として、桜のシーズンに備えて、上野池クリーン作戦を行いました。

みぞれ交じりの雪が舞う中、21名が3班に分かれて、約1時間作業を行い、上野池湖畔や道路沿いのやぶの中から、大型ゴミ袋に可燃ごみ13袋、不燃ごみ12袋、廃タイヤ2本を回収。「ポイ捨て禁止看板」を20本設置すると共に、特にゴミが多かった箇所には、「不法投棄禁止看板」を設置しました。このような活動を通じて、空き缶、ペットボトルなどゴミのポイ捨てが減って、きれいな街・住みよい街作りを目指しています。



## 小学生への郷土学習支援

— 地域マネージャー 奥田虎昭 —

1月25日(水)、庄原歴史民俗資料館での庄原小学校3年生社会科「昔の暮らし」教育において、庄原自治振興区「歴史文化継承事業」の一環で、地域マネージャーが講師として、展示されている民具を実際に見ながら、その使い方・素材等について説明し、昔の道具と人々の暮らしについての学習を支援しました。生徒にとっては初めて見る道具もあり興味津々だったようです。ただ残念なことは教材の展示民具は触れることができないので、水桶とポリバケツの感触的な違い等まで体感させてやれなかったことです。





## 桜の植樹（戸郷川憩いの場づくり）

— 大歳下自治会 —

市の活動促進補助金を活用して、3月12日（日）、子ども・青年・高齢者が協働で戸郷川の土手に65本の桜の苗木を植えました。今後、環境美化活動などにより地域の‘憩いの場’づくりに取り組み、地域の交流に役立てたいと思います。



## 一刻も早く「がん検診」を受けたまえ！

— 環境衛生部 —



11月5日（土）、本区環境衛生部では、広島県環境保健協会・庄原市保健医療課と連携し、啓発グッズ500個を活用して、「がん検診」の受診促進キャンペーンを市民会館入口で行いました。



「がん検診」は自覚症状のない健康なあなたが対象です。日本人の2人に1人が‘がん’になり、3人に1人が‘がん’で亡くなっています。ひとごとではありません。例えば『胃がん』は、早期（I期）に発見・治療すれば、治療してから5年後の生存率は、約97%です。

一刻も早く「がん検診」を受けてください。担当課は、市保健医療課 電話 73-1255 です。



## サロンを開設！毎月23日を楽しみに！

～ 大胡自治会 ～

「よそにはサロンとかいうのが有るらしい」「大胡でもあったらいいのにねー」

地域の方々のそんな声を受けて12月7日、社会福祉協議会の方を招いてサロン開設について考える会をもちました。20名を超す参加者から前向きな感想が寄せられ「良いことはすぐ始めよう！」と、年度途中ではありましたが早速1月からサロンをスタートさせることができました。

その名も「えびすサロン」。各自が持ち帰り用のゴミ袋と会費200円を持参すること、開催は毎月23日を「サロンの日」と決めました。

第一回目の「えびすサロン」（1月23日）には2歳の子から80歳代の方まで27名の出席がありました。最長老の方から飛び入りで大変よいお話をうかがったり歌をうたってにぎやかに終わる事ができました。

第二回目のサロン（2月23日）でも参加者のハーモニカ演奏で歌をうたったり、社会福祉協議会からお借りした輪投げやダーツなどして、口も体も頭も働かしながら、30名の参加者が楽しい交流の時間をもちました。今後も、シルバーリハビリ体操・昼食会・各種出前講座などを計画しています。



## 肌寒い中、熱い戦いでした！

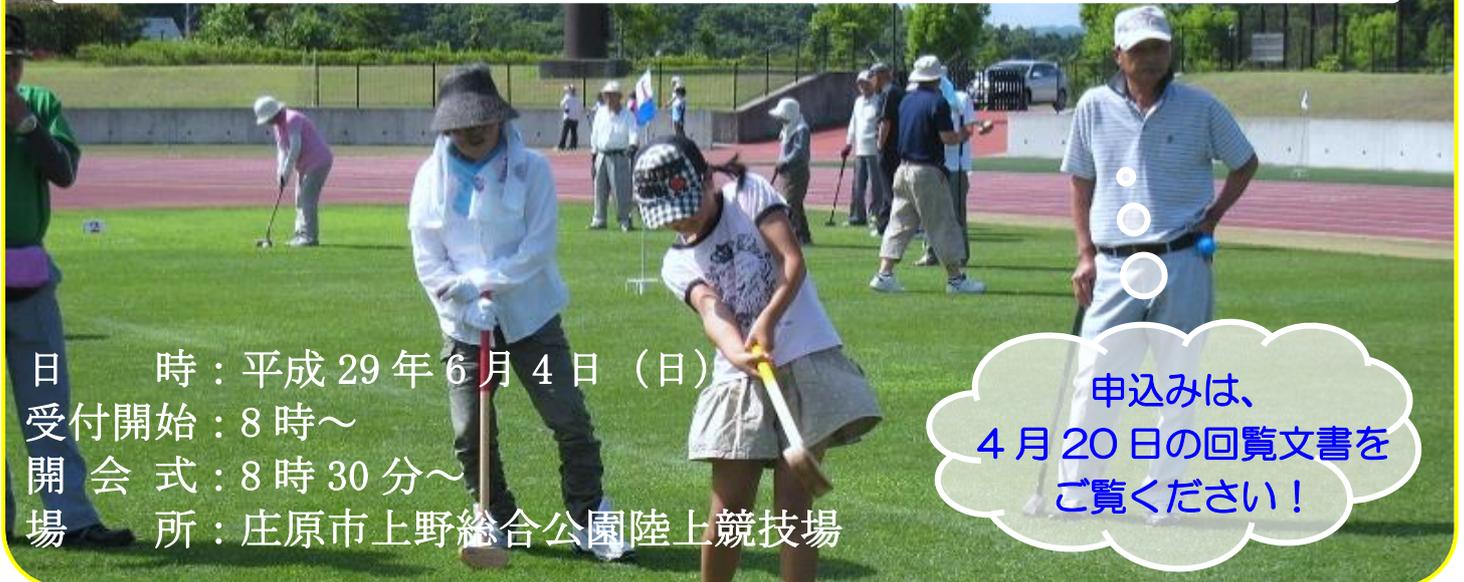
— 庄原地区体育協会 —

3月26日(日)、庄原さくら球場にて庄原地区体協主催の、第12回グラウンド・ゴルフ大会を開催しました。庄原自治振興区10団体、86名の方が参加され3コース3ゲームにわたり、熱戦が繰り広げられました。来年度も、子どもさんから年配の方までどなたも参加でき、手軽に楽しめるスポーツとしてグラウンド・ゴルフ大会を開催しますので、区民の皆さん多数ご参加お願い致します。

団体の部 : 優勝: 川手Bチーム 2位: 川手Aチーム 3位: 実業通りAチーム  
個人の部 : 優勝: 倉谷利美子 2位: 坂井 孝士 3位: 中川 茂樹 (敬称略)



## 第11回 区民グラウンド・ゴルフ大会出場者募集のお知らせ！



日 時 : 平成29年6月4日(日)  
受付開始 : 8時～  
開 会 式 : 8時30分～  
場 所 : 庄原市上野総合公園陸上競技場

申込みは、  
4月20日の回覧文書  
をご覧ください！

## 水路堆積土砂取り除き及び清掃の実施について

— 一本町公衆衛生推進会 —

来る4月29日(土・祝日)、本町公衆衛生推進会は東地区公衆衛生推進会と共催で、「清潔で住みよい街づくり」のために、水路堆積土砂取り除き及び清掃を計画しました。どうぞご協力をお願い致します。



## 5月の振興区主催行事予定

2日(火) 自治振興区総務企画会議	13:30～
9日(火) 自治振興区理事会	13:30～
16日(火) 庄原自治振興区通常総会	13:30～
16日(火) 環境防犯パトロール (大黒東・大黒上・裁判所通・大胡の各自治会長)	9:00～
23日(火) 自治振興区役員会	13:30～
毎週1回 青少協防犯声掛けパトロール	



## 編集後記

東日本大震災から6年。被災地の復興は着実に進んでいるというが、今なお12万人以上の人々が避難生活を送っている。大型公共事業が急ピッチで進められ、災害公営住宅の完成率は7割を超え、住宅の再建が図られつつある。復興がさらに進み平穏な暮らしが取り戻されることを願う。

災害に対して、一人ひとりが防災の意識を高め、日ごろからの防災訓練が重要。整理収納コンサルタントは、家庭内の防災対策のポイントとして、物の備え、室内の備え、心の備えを挙げている。早速、備蓄品の一覧表を作り、リストアップしたものを準備しておこうと思う。

M 記

